

第2回 まちづくり町民会議

2019/1/15 PM7:00

@中央公民館

《式次第》 19:00~21:10 (130分)

- 1 町長あいさつ【5分】
- 2 発表（住民提案型）【21分】
- 3 コメント（アドバイザー）【5分】
- 4 提案型課題の説明と作業について【44分】
 - ・ 議題テーマ「町の課題と解決策について」
 - *ポイント 自助 共助 公助の観点で！
 - ・ 作業部会：追加の意見を出しながら、出てきた意見をキーワード化
 - ・ 全体部会：報告
- 5 休憩【3分】
- 6 新庁舎建設にかかる経緯説明と作業について【50分】
 - ・ 議題テーマ「新庁舎建設場所について」
 - ・ 事務局説明：補足説明
 - ・ 作業部会：建設候補地を1つに絞る
 - ・ 全体部会：発表後、建設候補地を定め本会議としての答申内容をまとめる。
 - ・ 次回予定 建設地について①問題点の解決策、②建設地にならなかった場所の活用方法を検討いたします。
- 7 その他【2分】
 - 第3回開催日等について

【補足説明】

- 1 式次第 1 番：これまで庁舎建設について町の考えを明確にしていませんでした。
町としては、以下の方針があります。
 - ① 将来へちょうどいい庁舎を（将来負担・防災面）
 - ② 将来を見据えた機能性（時代に即した機能導入）
 - ③ まちづくりを担える場所（まちづくりの話題が話せる場所、学生が勉強できる場所、町民が研修できる場所等）

- 2 式次第 2 番：前回、議題テーマ「町の課題と解決策について」の発表が出来なかったため、発表を行い、その流れで提案型課題から協議を行い、町長諮問型「新庁舎建設場所」を協議する流れとする。

- 3 式次第 3 番：提案型のスキームについて
 - ① 町の課題をキーワード化する。
 - ② 課題に対して、将来どのような状態・雰囲気になるかを想像する。
 - ③ 将来から、現在どのような対策が必要か検討する。（検討した結果を役場の振興計画プロジェクトチームで協議する。）
 - ④ 役場で協議した内容を報告する。
 - ⑤ 提案書にまとめ、町長へ答申する。

*11 月上旬までに提案書にまとめれば、当初予算・振興計画に計上が可能である。

- 4 式次第 7 番
 - ① 新庁舎建設場所については、2 月初旬開催予定の第 3 回まちづくり町民会議で答申内容をまとめる。
 - ② 2 月の議会勉強会にてまちづくり町民会議答申内容を報告する。
 - ③ 3 月議会定例会で町長から答申内容を元に新庁舎建設場所決定について報告をする。
 - ④ 議会での報告に併せ、広報ちな・町ホームページで公表する。

配布資料一覧

* 資料番号は右上に表示しています。

- 1 式次第
- 2 別紙 1 新庁舎建設場所について（前回記録）
- 3 別紙 2 町の課題と解決策について（前回記録）
- 4 別紙 3 会議録（第 1 回知名町まちづくり町民会議）

* これ以降の資料については、特段の説明は行いませんので、熟読をお願いします。

- 5 別紙 4 限界集落、庁舎建設コスト比較
- 6 参考資料 1 町民会議用 LINE@を作成しました
- 7 参考資料 2 ルール等再説明
- 8 参考資料 3 素案_エラブ次世代ミーティング（仮）

（高校生を含めた会議設立の提案をうけ、準備段階の資料を掲載しています。あくまでも

参考です。）

町民会議連絡用 LINE@ を作成しました。

まちづくり町民会議の開催日程や、参考となる資料の紹介・町内で開催される研修会等の案内を行います。

LINE が利用できる方は、ぜひ登録をよろしくお願ひします。

LINE を利用していない方へは、電話・FAX 等で会議の日程をお知らせいたします。

一般公開はしており
ませんので、ご理解
ください。

ルール等の再通知

1、付箋紙への記入方法

子どもの遊ぶ
場所が少ない

見る人への配慮の為、以下のルールについてご協力ください

- *マジック等を利用してください
- *1枚に1つのキーワード・単語を記入してください。複数ある場合は、別の付箋紙へ記入してください。
- *付箋紙になるべく大きく文字を書いてください。

2、まちづくり町民会議の役割は

町長諮問型、住民提案型の両方とも本会議で住民目線での意見を取りまとめ、町長へ答申することです。

よって、本会議でまとめた意見が町の「決定事項」になるわけではなく、町が施策等を決定する時の「重要な意見」となります。

(素案)

2019/1/10作成 Ver.2

理想の島を目指して！

エラブ次世代ミーティング (仮)

Sustainable island society

参考資料3

名称は、子ども達に決めてもらいます

【Mission】 私たちにとって、理想の島をつくる。

【開催頻度】 会議は、2か月に1回(土) 予定。研修会は別扱い

【進め方】

会場：学校の教室を借り上げて、持ち回りで開催。

(傍聴自由)

内容：島の現状を学び、将来どうなっていくかを理解し、島の将来像について話し合いを行う。必要に応じて、視察やフィールドワーク等を行う。

【ねらい】

こども 将来像のイメージ ⇒ まちづくりに参画している自覚⇒島を好きになる⇒島に誇りをもつ

おとな 子どもと関わりを持つ場創生

⇒ 現在しなければ、いけない課題発見

【まちづくり町民会議との関係】

不定期でまちづくり町民会議へ参加し、エラブ次世代ミーティングの(仮)の提案反映と意見交換を行う

【予算】 検討中！

【メンバー】 大人を含む3グループ体制

- 1 学校推薦：学校単位で中学生4名 高校生4名 12名
- 2 学内公募：募集チラシ・申込書を作成し、職員室に申込箱を設置 全体で4名
- 3 大人：総務課で有識者を4名に依頼
大人のメンバーの一部は、知名町まちづくり町民会議委員から交代で参加。



【和泊町との連携】

島の将来なので、両町の子ども達で話あえる環境を構築する。実績を出来てから、和泊町に相談をする

【学校との関係】

本会議において、教員の参加(傍聴)は自由とします。学校において本ミーティング内容の利用については、一任いたします。



新庁舎建設場所について

2018/12/27
第1回知名町まちづくり町民会議

【該当ページ】

1班	P 1
2班	P 2
3班	P 3
4班	P 4
5班	P 5
6班	P 6
7班	P 7



*ご意見には、番号をつけていますが優先順位ではなく説明がスムーズに行えるよう便宜上としています。

*第5班から提案のありました「問題点」高・低を入れ替えた方がわかり易いと、提案がりましたが、資料と方眼紙を見比べる時に勘違いがあるかもしれないので、方眼紙の内容をそのまま記載しています。

なお、提案事項については次回同様の案件があった場合に検討いたします。

	●現庁舎の場所	●あしびの郷・ちな周辺
▲高 利点 (将来性) 低 ▼	1 利便性が良い(職員も)	1 災害に強いまちづくり (災害時に役場が機能するように) 2 避難拠点にもなれる (あしび含め) 3 土地があるので、他の公共施設を今後集約できる。
	1 駐車場がない 2 仮庁舎をつくる費用	1 商店街にアーケードをして賑わいは残るようにする。
▲高 問題点 低 ▼		

* 第3の候補地 区分(利点高) 場所を特定せず、ぐるぐる回る行政機能(知名→田皆→・・・)

	●現庁舎の場所	●あしびの郷・ちな周辺
▲高 利点 (将来性) ▼低	<ul style="list-style-type: none"> 1 にぎやか その他の交流 2 人の流れ(町の中心) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 災害時避難しやすい 2 建築コスト、将来負債の懸念(人口減) 3 現在地の有効処分により財源確保が出来る 4 金銭面 5 庁舎の塩害が少ない。長寿命化 6 知名町のシンボル性(あしびの郷) 7 各課統合化 8 将来の他の施設をまとめる事が出来る 9 将来的な拡張にも対応可 10 駐車場(広くて安全) 11 敷地広く1階建も可能
		<ul style="list-style-type: none"> 1 交通事故の心配がない
▲高 問題点 ▼低	<ul style="list-style-type: none"> 1 標高が低く心配(災害時) 2 塩害 3 建替えの場合、仮庁舎が必要 4 仮設場所が必要 5 土地面積が狭く庁舎高層階 6 現庁舎前道路狭い 7 道幅が狭い 8 庁舎場が遠い、少ない 9 移した場合、空いた場所の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 1 場所が孤立・隔離 住民の目から 2 無人バスの導入検討 3 バスの乗り入れが必要

	●現庁舎の場所	●あしびの郷・ちな周辺
▲ 高 利 点 (将 来 性) 低 ▼	<ul style="list-style-type: none"> 1 飲み屋に近い 2 移転の多さ 3 公共施設が集中している 	<ul style="list-style-type: none"> 1 災害（津波）対策OK 2 駐車場が広い・とれる 3 交通アクセスがよい
	<ul style="list-style-type: none"> 1 童歌で役場は知名字と歌われる 	<ul style="list-style-type: none"> 1 公共施設がまとまってよい 2 国営推理事務所を利用できる 3 移転が少ない
▲ 高 問 題 点 低 ▼	<ul style="list-style-type: none"> 1 身体不自由な方が来庁しづらい 2 エレベーターがなくて3階までの上り降りが大変 3 子連れは大変（遊具スペース等があれば） 4 仮設庁舎の費用がかかる 5 各課（特に別棟）への移動が大変 6 駐車場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 1 夜間照明が暗いかな 2 地下ダムの工期が延期したら？ 3 イベント時に混み合う 4 坂を上るのが大変

* 第3の候補地 区分（問題点高） まとまった土地の購入が難しい

	●現庁舎の場所	●あしびの郷・ちな周辺
利点 (将来性)	<p>*以下、高いと低いの間意見</p> <p>1 本部・大蔵病院へのアクセスが良い</p> <p>2 高齢者に優しい</p> <p>▲ 3 ホテルに近い</p> <p>4 コンパクトでよい</p> <p>5 利便性 (shoppingついで)</p>	<p>1 面積があり機能を集約できる</p>
	<p>1 商店街への動線</p>	<p>1 バリアフリー駐車場の乗り入れ</p> <p>2 平屋でいける</p> <p>3 仮庁舎不要</p> <p>4 津波問題ない</p> <p>5 コストを抑えられる</p> <p>6 仕事の効率は良い</p> <p>7 引越しが1回で済む</p> <p>8 駐車場は広い good!</p>
問題点		<p>1 バスのダイヤ変更が必要 (改訂)</p> <p>2 商店街の衰退の恐れがある</p> <p>3 3,000mまで広すぎる</p>

* 第3の候補地 区分 (利点低) 町民サービスに係わる課は分所化

	●現庁舎の場所	●あしびの郷・ちな周辺
▲ 高 利 点 (将 来 性) 低 ▼	1 商店街から近い *以下、高いと低いの間意見 2 バスを通る 3 町の中核としての利便性	1 地形の利用（坂道を利用。例 瀬利覚公民館） 2 駐車場が広いので沢山の人が集まれる 3 文化ホール、国営ダム庁舎と併用可 4 駐車場広い 5 拡張性に富む 6 建設費が低く済む 7 土地の広さ 8 敷地の確保が可能
		1 建物の集約 2 災害に強い 3 免許の必要性がある
▲ 高 問 題 点 低 ▼	1 仮設庁舎が必要になる 2 土地の高低差がある 3 駐車場が分散していてよくない 4 商店街がさびれる *以下、高いと低いの間意見 役場施設の分散	1 坂道をのぼって行かなくはいけない
		1 駐車スペース 2 変形した庁舎がつけられそう 3 仮設庁舎の費用

* 第3の候補地 区分（利点低） 田皆中を統廃合して町民課窓口をおく

●現庁舎の場所

●あしびの郷・ちな周辺

▲ 高 利 点 (将 来 性) 低 ▼	1 商店街に近くて便利 2 商店街が近い 3 通学路から毎日役場を見れるといいね 4 町民に見える	1 敷地が広い 2 費用が少なくて済む 3 バイパスで道路が広く便利 4 アクセル◎建設工程 *以下、高いと低いの間意見 5 引越しが楽 6 津波に強い
		1 災害に強い 2 土地の購入の必要がない
▲ 高 問 題 点 低 ▼	1 駐車場少ない 2 土地が狭い 3 塩害、災害に弱い 4 老朽化 建物多い 5 建設工程リスクあり 6 各課が離れている	1 さびしくなるよ街が 2 坂道すぎる、もっと身近に役場があつていいのでは 3 職員の顔が見れません。また、職員は町民の顔がみれますか？ 4 夏まつりのパレードどうする。どこからスタート？
	1 アクセス△	1 商店街遠い

●現庁舎の場所

●あしびの郷・ちな周辺

▲
高
利
点
(
将
来
性
)
低
▼

- 1 動線が良い
 - 2 長い目で見れば、お金がかかっても現庁舎の場所が良い
-
- 1 複数の用事が済まされる
 - 2 病院、郵便局、学校、銀行、JA、商店街(動線がある)
 - 3 町の中心としての歴史

- 1 広さに利便性がある
 - 2 安全性
 - 3 あしびの郷の有効活用
 - 4 町民体育館の建て替え時に用地の拡張性がある。
-
- 1 有効利用(施設、駐車場)
 - 2 人の新しい流れができる

▲
高
問
題
点
低
▼

- 1 駐車場のスペースの確保が問題
- 2 建設費用(仮設が必要)
- 3 仮設庁舎等費用がかかる
- 4 一時引越金が必要
- 5 スペースがない
- 6 建設費高い
- 7 建設用地取得(可能か?)

- 1 別の道路が必要
- 2 役場用の事しか果たせない
- 3 坂道があぶない
- 4 商店街への流れを作る必要がある
- 5 車での移動が出来ない人、電動カーの人は不便かな

どれも属さない意見

- 1 両候補地の建設コストが示されていない
- 2 どっちにしても町民が利用しやすい所で

町の課題と解決策について

2018/12/27

第1回知名町まちづくり町民会議

【該当ページ】

1班	P1
2班	P2
3班	P3
4班	P4
5班	P5
6班	P6～P7
7班	P8



【用語説明】

- ①フリーランス 特定の企業や団体、組織に専従しておらず、自らの技能を提供することにより社会的に独立した個人事業
- ②限界集落 過疎化などで人口の50%以上が65才以上の高齢者となり、冠婚葬祭などを含む社会的共同生活や集落の維持が困難になりつつある集落を指す。限界集落を超えた集落は「消滅集落」へと向かう。なお、55才以上が人口比率50%を超える場合を「順限界集落」という。
- ③ラウンドワン ボウリング・アミューズメント（ゲームセンター）・カラオケ・ビリヤード・ダーツ・卓球・バッティング等が楽しめる娯楽の複合施設。

*印については、確認が必要

農地不足
農業委員会の機能低下

商店街のアーケード

ひとづくり

* 各地域において担い手が匿名に活動できる環境

高齢者対策

農業助成金のかたより (牛・さとうきび)

* 車の通行配慮

「ゆい」制度

車内医療の向上 (医療)

空き家対策

町営住宅の分散

歩道の設置

学校や園のマンパワー不足

独居高齢者が、地域内で普通に暮らせる (福祉)

環境美化 (道路等)

限界集落の発生

向う三軒両隣が顔見知り以上の

子どもの経験世界の理解不足

子どもの遊ぶ場所が不十分

町財政

伝統芸能の継承が出来なくなっている

雨天でも家族で行ける場所が少

所得増

*印については、確認が必要

人口減少に対する町対策

知名町の県内での1番のセール

町のふるさと納税対策

こどもが多い町 (福祉)

(福祉) こどもや老人の負担が少ない町

子育て支援の充実

外国人の農家への受け入れ

知産知消の充実

(観光) 観光客が多く来る町

I・Uターンが増える町

6次産業化の早期設立

(人口) こども多いまち

(財政) できる限り自立

単身者も楽しく住める町

安心・安全

台風時の停電対策

・福祉
*弱者支援体制の充実

・環境
墓じまいの後処理

・環境 (字) ゴミ収集場所
犬の糞、道路のゴミ (袋)

・災害・台風被害 未然指導、
・即対応 道路へのふく木

島バナナの推進

*印については、確認が必要

空港や港でのATMを増設してほしい	タクシーが安く なってほしい	夏にすずしく 過ごせる町	若い人が帰っ てくる	子ども出生率 の高い町
各字の空き家の再 利用（人口増加）	若者の定住・定職 の向上（雇用）			
道路がもっと拡 張してほしい	福祉施設の充実	仕事がある	交流人口の多い 町	IT関連が発展 する
病院の専門医の常 駐化（医療）	雨天時の子供の遊 び場が増えてほしい。	担い手の育成	ランチができる 飲食店が増えて	農業が儲かる
酒飲みの場が少な くなった	交通費が安い（飛 行機・船）	老人と若者の交流 のある町	I・Uターン者が 増える町	集落間の交流のあ る町

*印については、確認が必要

教育 スポーツ大会が多すぎ、子供たちが休んだり遊ぶ時間がない

教育 学力向上！将来役立つ能力を身につける

教育 相談窓口の充実

教育 0才～18歳までのトータルサポート（親含む）

庁舎は人口に見合った規模でコンパクトが良いはず。職員数の問題

産業 商店街の活性化

産業 フリーランス！技術を身につけて収入アップ

子供たちが将来ほこりを持てる町へ

町のシンボルは？シンボルを定める。

観光 ・草刈（除草剤不使用）

観光ビジネスの確立町を歩く（歩きたい町づくり）

町・島のPR強化今ではインスタ、FB等

交流人口を皆で知恵を出して増やすこと

花の島？住民みんなでゴミを拾う。キレイな町へ変身

子どもたちが帰ってくるために→絶対職場

職がないと帰ってこない→人口減

Iターン者も職がないとこない

住宅 空き家の家賃をスムーズに

少子化 出産・育児に優しい町

町による買取、借上げ、又は助成

空き家の活用化

*印については、確認が必要

・結婚
・出会い

きれいな海を生かした楽しみ方を提案

障害者に優しいまち
(今は優しくない)

学校の再編

上水道の硬度対策

人口増の為の施策

年配の方が子どもたちと関われる場

人口減を是とする町づくり

子ども育成に金(町)を

奄振に頼りすぎない

若者たくさんが町に帰ってくる

雨天時の遊び場を

自然を大切に生かす

農業の町の継承

自助・互助の心を

最低賃金ではない仕事がある

おいしい水の飲める町 硬水→軟水に

ペットボトル対策

福祉拠点センター建設

日本一きれいなトイレの町を

大型遊具の設置を
(アスレチック)

食べ物の多様性

ごみ分別を資源に

世界自然遺産を一つでも

生ごみを資源に

医療が整った町

皆が集えるスペース
を
(コミュニティセン
ター)

ごみ分別
えらぶ 5
県内のある町 28

公民館
県内ある町は60年
知名町その間に3回建

ポイ捨ての無い

*印については、確認が必要

人口を増やす

町民を増やす

限界集落をなくする

子どもの多い町

老後心配なく暮らせる

各種行事に進んで参加する

町民に奉仕の精神を

観光客に感動を与える島

老人にやさしい町

台風のと看食品がない。子持ちは困る

障がいのある人が楽しく思える場所

若者が定住できる町

働く場所（職場）

島を出てもいずれ帰る場所

*印については、確認が必要

人口減少
(働く場確保)

高齢者・子育て支援
高齢者と子供達が集まり遊べる場の創造

環境整備
・ゴミのポイ捨て
・ビーチのゴミゼロ

ICT環境の整備
離島のハンデなく日本一のブロードバンド環境づくり

農業
食の自足で経済循環

地域のつながり
(人のつながり)

移住
沖永良部で暮らしたい人が増加
空き家を有効利用

住民主体の地域づくり
まちづくりの協議会の委員になるために選挙を行う

農業
沖永良部ブランドが日本中で認知

何も無い幸せ

生ごみの減量
(買い物ゴミ)

健康で長生き (町の医療費を抑える)

ラウンドワンのような広い層で集えるレジャー施設があったらいいな

若者を定住させないと高齢化が進む一因となるので施策が必要

青年団交流の場を広げられないか

集いの場

会議録

会議名：

日時：2018年12月27日 木曜日 19:00~21:10

場所：知名町中央公民館ホール

参加者：最終ページ参照

1 会議内容

- 1 町長あいさつ
- 2 事務局説明（会議の進め方）
- 3 住民提案型会議の会長選出及び委員事務局の選出
事務局提案より 会長「外山 利章さん」、事務局「勘里 絵利奈さん」
- 4 グループ分け発表
- 5 新庁舎建設にかかる経緯説明と作業について
休憩
- 6 提案型課題の説明と作業について
- 7 その他 次回開催日程

2 作業及び報告事項抜粋

- 1 作業部会での発表内容は、別紙1 庁舎建設場所WS（第2回まちづくり町民会議）資料を参照してください。
- 2 会議内容 7 その他
 - ①外山委員
 - Q 高校生を何人か参加させてもらいたい。
 - A 町長 夜間になるので、高校の了承次第、アンケートで対応したい。
 - ②朝戸委員
 - Q これまでの基本構想委員会との整合性はどうか
 - A 町長 この町民会議では、基本構想委員会の意見を元に、広く意見求め、さらに深めたい。



Q アンケートの実施について

A 町長 アンケートを実施しなくても良いように、この会議を実施している。

③宗岡(須)委員

Q 会議内容の公表はどのようにされるのか

A 永野 資料の設置場所（役場1階、あしびの郷・ちな、町立図書館）、HP、LINE等での周知について説明

④吉田さん

Q 公表される資料には、議事録も含まれるのか。

A →含まれる。

3 会議後の経緯

自由意見にあった子ども達を対象とした組織化を検討します。

4 次回開催日

第2回は1月17日から20日の間で開催（実際は15日（火）に決定）

5 その他（自由欄）

*会議の開催については、平日がよいとの意見多し。

§ 知名町まちづくり町民会議 委員名簿							
区分	番号	班	区分	氏名	役職	任期	第1回
一般委員	1	4	商工会	原田 孝志		2018/12/27～ 2020/12/26	○
	2	4	観光協会	東山 輝昭			○
	3	5	子育て団体	大山 英達	知名町青少年育成連絡協議会		○
	4	6	老人クラブ連合会	淵邊 精四郎			○
	5	2	青年連絡協議会	宗岡 理奈			○
	6	2	壮年連絡協議会	西 文男			○
	7	4	地域女性団体連絡協議会	長山 美香			○
	8	7	社会福祉協議会	安田 輝秋			○
	9	3	鹿児島県(沖永良部事務所)	黒木 裕哉			○
	10	7	知名町議会	外山 利章			○
	11	2	民生・児童委員	伊井 亮雄			○
	12	5	保育関係代表	林 真希子	しらゆり保育園		○
	13	3	区長会	吉田 末次			○
	14	2	沖永良部島漁業協同組合	松元 勇斗			欠席
	15	3	農業分野(花)	幸山 利忠			○
	16	1	農業分野(野菜)	久本 和秀			○
	17	4	農業分野(さとうきび)	池沢 清良			欠席
	18	6	農業分野(たばこ)	赤池 武彦			○
	19	5	農業分野(果樹)	西田 和希			○
	20	5	シルバー人材センター	新納 善八郎			○
	21	2	フローラルホテル	東 彰男			○
	22	6	航空自衛隊第55警戒隊	上村 広輝			○
	23	7	建友会	久保 勝吉	久保建設術		○
	24	3	金融機関代表	城山 衣帆	奄美信用組合知名支店		○
	25	3	あまみ農業協同組合 知名事業本部	島 元嗣			○
	26	1	地域おこし協力隊	勘里 絵利奈			○
	27	4	医療機関関係	森 孝司	本部医院		○
	28	1	NPO法人等	内山 将哉	NPO法人 おきえらぶ子どもリハビリサポートセンター		○
	29	7	沖洲会関係者				○
	30	1	学識経験者等	西 盛治			○
	31	6	学識経験者等	清水 恵子			○
	32	7	学識経験者等	宗岡 須賀美			○
公募	33	5	公募委員	朝戸 武勝		○	
	34	1	公募委員	前田 安彦		○	
	35	6	公募委員	金城 良太郎		○	
				男性	27		
				女性	7	計34	33
アドバイザー	1		合同会社 地球村研究室	石田 秀輝	代表社員		○
	2		鹿児島大学	金子 満	准教授		○
行政	1		知名町役場		町長		○
	2				副町長		○
	3				教育長		○
	4				総務課長		○
	5			永野 道也	総務課担当		○
	6			白石 重樹	総務課副担当		○
				関係者		計8	8
						総計	41

1 限界集落等

2019年1月1日時点

	人口	平均年齢	65才 割合 (%)	限界集落	55才 割合	準限界集落
知名	1,266	39.7	19.51		30.65	
屋子母	217	61	51.61	○	70.05	○
大津勘	47	51.3	34.04		57.45	○
徳 時	95	60.8	57.89	○	70.53	○
住 吉	349	53.8	39.83		58.45	○
正 名	327	51.7	34.86		57.8	○
田 皆	662	52.5	37.01		54.98	○
下 城	56	63.5	55.36	○	76.79	○
上 城	156	46.1	31.41		46.15	
新 城	150	57.6	46		64	○
久志検	77	52.9	42.86		50.65	○
赤 嶺	78	51.1	35.9		48.72	
竿 津	109	58.4	53.21	○	66.97	○
余 多	187	54	37.43		55.61	○
上平川	309	56	41.42		60.52	○
下平川	212	44.9	25.47		43.87	
屋 者	106	52.4	31.13		52.83	○
芦清良	324	52.1	39.81		55.5	○
黒 貫	166	50.9	36.75		51.2	○
瀬利覚	689	49.6	34.54		49.2	
小 米	365	53.4	38.36		53.42	○
老人ホーム	66					
町全体	6,013	50.4	35.1		50.83	

2 庁舎建設費用比較 *建設費用以外の単純コスト比較

区分	A 現庁舎の場所	B あしびの郷・ちな周辺	差額 (A-B)
1 新庁舎建設見込み	1,500,000,000	1,500,000,000	0
2 現庁舎解体費用	123,816,000	123,816,000	0
3 仮設庁舎	263,000,000	0	263,000,000
4 町ネットワーク	32,616,000	16,308,000	16,308,000
5 光設備関係	4,000,000	2,457,000	1,543,000
6 防災無線関係	33,110,000	16,555,000	16,555,000
7 テレメーター	47,700,000	44,000,000	3,700,000
8 土地購入 (公示価格)	10万円/坪	4.5万円/坪	5.5万円/坪
合計	2,004,242,000	1,703,136,000	301,106,000

【補足】

番号4・6 費用について、仮設庁舎へ一度ネットワーク・設備等を一度移設するの2回経費がかかる

番号5 既存庁舎→仮設庁舎→新庁舎接続費用で計算しています

番号7 については一度現行システムを仮庁舎移設する費用が増額となっている

*追加で購入する用地購入する費用は面積未定のため計上せず。

*Aは仮設庁舎へ引越しを行うための、運搬費等は計上せず。

*Bは、新庁舎建設に伴う社会基盤整備（道路等）は計上せず。